

アメリカミシガン州駐在員便り
瀧 健太郎

【ミシガン州の厳しい冬】

ミシガンでは記録的な異常気象が続いています。

2013年12月23日に降った「着氷性の雨（Freezing Rain）」は何万世帯もの停電を引き起こしました。着氷性の雨とは、過度に冷やされた雨が地表に落ちたとたんに凍結する現象のことです。写真のように見た目はとても美しいのですが、氷の重みで次々と倒木が起こり至る所で電線を破断させました。街中の道路は倒木が散乱し、信号も停電して一時かなり混乱しました。暖房がとまると寒くて危険です。多くの人が避難所やホテル、親戚や友人の家で過ごしました。中には一週間以上停電が続いたところもあります。せっかくのクリスマス休暇が台無しになりました。

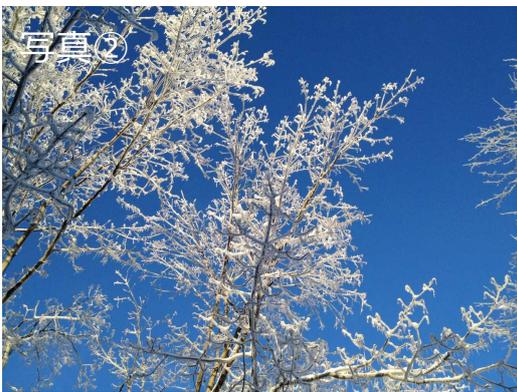
明けて2014年1月6日には、強い寒波が到来して記録的な寒さをもたらしました。零下25度（摂氏）は初めての経験でした。数分外にいるだけでも寒さのあまり命の危険を感じます。その後も、零下20度を下回る日々が続き、降雪も例年になく多く、非常に厳しい冬となりました。アメリカ陸軍工兵隊の発表（2014年3月6日現在）では、五大湖も約92%以上が氷に覆われていて、観測史上2番目の広さなのだそうです。

ミシガンの冬は曇天が続くことや、気温が低すぎて野外活動が制限されることから、冬にうつ病を患うひとが多くなるそうです。ただ最近では、日が徐々に長くなり、晴れの日も増えてきました。みな春を待ち焦がれています。



着氷性の雨 (Freezing Rain)

- ① 見た目は幻想的で美しいのですが、倒木を次々と引き起こし大変危険です。
- ② 氷に覆われた枝は、その重さで突然頭の上から落ちてきます。市内では不要不急の外出は禁止されました。
- ③ 交差点にも枝が落ちてきます。多くの交差点も停電しています。



- ④ 連日、大雪が続きます。特にお年寄りなど毎朝の雪解けが生活の負担になります。
- ⑤ 零下24度を観測。命の危険を感じる寒さです。